

オリビア

ニュートン・ジョン

ジョン

トラボルタ

博品館

ミュージカル映画フェスティバル  
Musical  
Mouvie's  
Festival

ダイナミックに燃えあがる  
《夢のスーパー・コンビ》の歌と踊りと熱い恋!!

# GREASE グリース

＜カラー作品＞ パナビジョン

ストッカー・トニー・チャニング スペシャル・ゲスト イフ・アー・アテン ◆ フランキー・アバロン ◆ エド・バーンス ◆ シャ・ナ・ナ  
製作 サタデー・ナイト・フィーバーのロバート・スティグウッド/アラン・カー ◆ 監督 ランダル・クレイザー  
オリジナル音楽 ジム・ヤコブス/ウォーレン・ゼンノ ◆ グリースのテーマ作詞作曲 バリー・キフ ◆ 振付 バトリシア・バーチ ◆ パラマウント映画 CIC配給

# キャバレー CABARET

■カラー作品

ライザはいつも  
愛のために歌う――

ライザ/心は愛を求めて傷つき  
ライザ/涙をこえて明日に生きる  
ライザ “サリー” ミネリ  
華麗なる新スター誕生!

ライザ・ミネリ主演

- マイケル・ヨーク
- ヘルムート・グリーム
- ジョエル・グレイ

- 製作 サイ・フューアー
- 監督 ポプ・フォッシー
- 脚色 ジェイ・アレク
- 作詞 フレッド・エップ
- 作曲 ジョン・カンダー

原作 ジョン・バン・ドルーテンの舞台劇並びに  
クリストファー・イシャーウッドの小説にもとづくミュージカルより  
■20世紀フォックス提供

2 / 1(金) ~ 15(金)

グリース	1:00	5:15
キャバレー (日) 祭	0:45	3:00
	7:15	

入場料1,000円 (前売券800円)

銀座8丁目  
博品館劇場

〒104 東京都中央区銀座8-8-11 銀座博品館8F  
TEL. 03(571)1003代



# GREASE グリース

「サター・ナイト・パーティー」で燃えて踊ったジョン・トラボルタ。その一作でスーパースターの地位を獲得した彼の第2弾、それがこの「グリース」です。共演がポップス界のクイーンとしてヤングのアイドル、オリビア・ニュートン・ジョン。

オリジナルのミュージカル「グリース」はブロードウェイで連続2200回の公演記録を樹立。アメリカばかりか77年の日本上演など世界各地で上演されている。

映画化に当ってはオリジナル・ステージの歌と曲を大幅に整理して現代のセンスにマッチする新曲を多数つけ加えた。製作は「サター・ナイト・パーティー」。「ジーザス・クライスト・スーパースター」等を手がけているロバート・ステイグウッド。監督はこの作品がデビューのランダル・クレイザー。フレッシュ・コンピを取りまくキャストは「青春の暴走」のストッカード・チャニングの他、ゲスト出演として50年代のアイドル歌手フランキー・アバロンが全く変らぬ若さで、「サンセット77」のクイー役でおなじみだったエド・パインズ、ロックンロール・グループ「ジャ・ナ・ナ」などに再帰する事が絶対条件というキャストだけにダンス・ナンバの迫力は圧巻。全編にちりばめられた数々のヒット・ソングと共に若い魅力にあふれたミュージカルを満喫させてくれる。

## ■ジョン・トラボルタ

1954年、ニュージャージー州生まれ。16才で故郷を離れてニューヨークへ。芝居やダンスのレッスンをしながら、オフ・ブロードウェイの舞台に立ち、「グリース」で念願のプロードウェイの槍舞台を踏んだ。

やがて、TV製作者ジミー・コマックに認められて、「Welcome Back,Kate」というテレビ物にレギュラー役を貰い、セクシーな魅力でたちまち女性視聴者のアイドルとなる。だがTV映画「ブラステックの中の青春」では特殊な病に苦しむナイーブな青年をきめ細かに演じ、俳優としての素質を証明した。映画デビューは「魔鬼雨」(76)。続く「キャリー」(76)では准主演、そして「サター・ナイト・パーティー」(77)で看板スターに躍進。

## ■オリビア・ニュートン・ジョン

レコード界のスーパースターで万人に愛されているアイドル。今回「グリース」で堂々とスクリーンにデビューした。

英国のケンブリッジで生まれ、幼少の時に家族と共にオーストラリアへ。何よりも歌うことが好きで16才で出場したタレント・コンテストに入賞して、新進歌手として英国へ戻る。

73年、レット・ミー・ビー・セラでグラミー賞を、続く74年には大ヒットした「愛の告白」でグラミー賞を2個も獲得し、不動の名声確立する。以来、各国の有名レコード賞を総なめにする。彼女の動物好きは有名で、イルカの問題で日本への演奏旅行をキャンセルした事件は、まだ記憶に新しい。

## ■監督 ランダル・クレイザー

1948年生まれ、18才で南カリフォルニア大の映画科に入學。一足の運動靴がラブリンを演ずる短篇(上映時間1分)「Foot Fetish」で学生演出賞を獲得し、卒業作品の短篇「Peagee」(28分)はアトランタ映画祭で最優秀賞に輝いた。この「Peagee」がユニヴァーサル目に留り、同社のTVシリーズを何本か手がけ、TV映画「All Together Now」で製作者ロバート・ステイグウッドと出会う。この出会いがトラボルタ主演の「ブラステックの中の青春」の成功に彼を導き、更に待望の映画第一作「グリース」の監督の座をもたらした。



# GABARET

# キャバレー

リス、オールドリー以来たえて久しかったスーパースターの誕生。これがミュージカル・ドラマ「キャバレー」の最大の見どころである。その名はライザ・ミネリ。

1930年頃のベルリンを背景に、シヨウの世界に生きる若い娘と、やはり若い学者の卵であるエトランゼの孤獨な、やるせない恋の時を描いた感動的な作品である。

シヨウ・マステロフ原作のプロードウェイのヒット・ミュージカル「キャバレー」と、ジョン・バン・ドールテン作のステージ・プレイ「私はカメラ」並びにクリストファー・イシャーウッド作のストリー集に基いて「ミス・プロディエーの青春のジェイ・プレッソン・アレン」がヒュー・ホイラーと共同で脚色にあたったもの。

監督は舞台の実績をひっつけて映画化もされた「スイート・チャリティー」で、その鮮烈な感覚が高く評価されたポップ・フォッシーで、今度はさらに深い洞察力にみちた演出で単なるミュージカル以上の感銘をあたえる。

製作は「野郎どもと女たち」、「カンカン」でおなじみのサイ・フェューア。ブロードウェイ出身だけにポップ・フォッシーとのコンビはすばらしい。

## ■ライザ・ミネリ

ニューズウィーク誌が「スター誕生」とほめたため、タイム誌が「シヨウ・ビジネス界の女王」と見出しをつけて、共に表紙にとりあつた1960年代後半の最大の発見と云われるライザ。

父はハリウッドの名匠ビンセント・ミネリ、母はミュージカル・スターとして伝説的存在であった故ジュディ・ガーランド。1946年ロサンゼルス生れ。16才で本格的にシヨウの世界にとび込む。幼い頃から母ジュディと共に舞台上に立ち、1965年にはトニー賞を獲得した。時に19才、トニー賞の最年少記録である。

映画入りは1967年、68年に「くちづけ」が絶賛をうけ、アカデミー賞こそのがしたがイタリヤのオスカールと呼ばれるダビッド・アイ・ドナテロ賞を獲得した。

## ■監督 ポプ・フォッシー

イリノイ州シカゴに芸人の子として生まれた。9才でダンスを始め、13才で舞台に立った。

第2次大戦中、海軍所属の劇団に加わり慰問興行に従事した。53年、ハリウッドへ来てMGMと契約し、タンサーとしてミュージカル映画に出演したが、やがてニューヨークのプロードウェイに進出し、55年に名作「パジャマ・ゲーム」の振付師としてトニー賞を獲得。くたばれヤンキース、「町のニューガール」、「レッド・ヘッド」、「スイート・チャリティー」、「努力しないで出世する方法」の振付を手がけ、その中で「レッド・ヘッド」と「スイート・チャリティー」は演出も試みた。これらのミュージカルはすべて彼の振付で映画化され「スイート・チャリティー」は演出も兼任した。60年「くたばれヤンキース」以来彼の作品に出演している名女優グエン・バーデンと結婚した。映画のセットでは絶えず動きまわり、片時もタバコをくわえていない時はない。